

授業概要

本講義では、教育法Ⅰにおける中学校社会科及び高等学校地理歴史科に関する理論的・実践的な課題を踏まえて、それらの教科・科目を実践するための社会科教師としての資質を養うことを目的とする。具体的には、次の三つのパートから講義及び模擬授業実践・検討を行う。パート1では、教育法Ⅰの理論的・実践的な課題を振り返るとともに、中高社会科教師と教科書の関係性、教材研究や生徒にとっての「身近さ」について検討する。パート2では、学習指導要領と授業づくり・学習評価の関係について新学習指導要領や学術的な知見を踏まえて検討する。パート3では、実際に学習指導案を作成し、自らの授業観を表現していく。パート4では、模擬授業実践・授業検討会を通して、指導計画と実際の授業の違いについての気づきを体感し、また授業改善への手がかりやアイデアについて議論していく。

授業計画

第1回	地理歴史教育の今日的意義——教育法Ⅰのふりかえり①
第2回	中学校社会科・高等学校地理歴史科の教科書比較——教科書執筆者の教育観を読み解く
第3回	「身近な」教材の調査と活動づくり——生徒のレディネスと地理認識・歴史認識
第4回	学習指導要領と授業づくり・学習評価①——「資質・能力」と「見方・考え方」
第5回	学習指導要領と授業づくり・学習評価②——形成的評価とカリキュラム
第6回	学習指導案の作成①——目標・評価と単元計画
第7回	学習指導案の作成②——授業計画と学習内容・学習方略；ICT機器の活用
第8回	学習指導案の作成③——「評価テスト」の再定義
第9回	模擬授業と授業検討会①——地理的技能・気候・宗教
第10回	模擬授業と授業検討会②——世界の諸地域
第11回	模擬授業と授業検討会③——日本の諸地域
第12回	模擬授業と授業検討会④——古代・中世
第13回	模擬授業と授業検討会⑤——近世
第14回	模擬授業と授業検討会⑥——近現代
第15回	授業観の再構成と社会科教師の専門性——指導計画と実際の授業のふりかえり②
第16回	筆記試験

到達目標

- ・地理歴史教育に関する理論と実践の検討を踏まえて、自らの授業観を学習指導案に表現することができる。
- ・中学校社会科及び高等学校地理歴史科の趣旨を踏まえて、社会科授業を実践・検討することができる。

履修上の注意

本講義は、中学校社会及び高等学校地理歴史科に関する教育法Ⅱの講義である。社会科・地理歴史科教育法Ⅰを受けていることが前提となる。なお、大学の教室外で調査をすることも考慮しておくこと。

予習・復習

講義の中で紹介する文献を読んだり、複数の教科書を比較・検討して教科の内容の全体像や教科書会社の見方を捉えたり、また、実際の授業づくりのための教材を収集・整理したりして学びを進めながら、教育実習や実践に向けて準備してほしい。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・学習指導案：30%
- ・模擬授業・授業検討会における活動とふりかえりシート：30%

テキスト

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書名：中学校学習指導要領（平成29年告示） 解説 社会編 ・著者名：文部科学省 ・出版社名：東洋館出版社 ・出版年（ISBN）：2018 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書名：高等学校学習指導要領（平成30年告示） 解説 地歴歴史編 ・著者名：文部科学省 ・出版社名：東洋館出版社 ・出版年（ISBN）：2019
--	---

参考文献：荒井正剛（2022）『中等教育社会科教師の専門性育成』学文社。
 渡部竜也・井手口泰典（2020）『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書。
 社会認識教育学会（2020）『中学校社会科教育・高等学校地理歴史科教育』学術図書出版社。